

(共同リリース)

2025年3月9日  
高知県大豊町  
株式会社ブーランジェリーエリックカイザージャパン  
日本航空株式会社

## 高知県大豊町の特産品「銀不老豆」を使用したシナモンロールを開発 ～全国のメゾンカイザーの店舗で数量限定で販売します～



「銀不老豆(ぎんぷろうまめ)のシナモンロール」

高知県長岡郡大豊町(町長: 下村 賢彦)、株式会社ブーランジェリーエリックカイザージャパン(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 木村 周一郎、以下「メゾンカイザー」と日本航空株式会社(本社: 東京都品川区、代表取締役社長: 鳥取 三津子、以下「JAL」)は、大豊町の特産品である「銀不老豆(ぎんぷろうまめ)のシナモンロール」を開発し、2025年3月10日(月)から全国のメゾンカイザーの店舗で数量限定で販売します。



JALグループ専用畑での銀不老豆畑作業の様子



銀不老豆

JALは2021年度から大豊町銀不老生産組合と共同で、町内のJALグループ専用の畑で銀不老豆の生産に取り組んでいます。<sup>(\*)</sup>

銀不老豆は、太陽の光に照らすと銀色に光り輝き、豆に含まれる栄養価が非常に高いことから「不老長寿の豆」としてその名が付けられています。生産者の高齢化や人口減少に伴う生産量の低下が課題となっています。

このたび、大豊町の「希少な銀不老豆を受け継いでいくための新たな商品を開発したい」という想いと、JALの「銀不老豆の生産量と供給量を増やし地域活性化を目指したい」という想いが合致し、新たな商品の開発が始まりました。JALの国際線機内食やラウンジでのパンの取り扱いを誇るメゾンカイザーがこの主旨に賛同し

てプロジェクトに参画し、商品の開発の中心となり試作と意見交換を重ねた結果、銀不老豆本来の食感や味わいを活かすことができるオリジナルの生地を配合し、「銀不老豆のシナモンロール」が完成しました。

大豊町とメゾンカイザー、JAL は、今後も町の特産品や観光の魅力を発信、新たな価値の創造を通じて、さらなる地域活性化を目指して取り組んでまいります。

(\*1)大豊町とJALは、包括連携協定([https://japan.jal.co.jp/pdf/otoyo\\_230123.pdf](https://japan.jal.co.jp/pdf/otoyo_230123.pdf))を結び、地域活性化に向けた取り組みを進めています。

#### 【商品概要】

商品名:銀不老豆のシナモンロール

価格:519円(税込)

販売開始:2025年3月10日(月)～

※各店舗での販売数が売り切れ次第終了となります。

販売店舗:日本国内32店舗を予定

以上